

わが家の学びの充実に向けて

～子どもの探究心を生み出すかわり～

変化の激しい社会の中でたくましく生き抜くために、「実際の社会や生活で生きて働く知識や技能」、「未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力」、「学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性」などが求められており、各学校では探究的な学びを大切にしてこれらの力を育んでいます。全国的な調査によると、家庭学習時間がしっかり確保され、学校での出来事が話題になる家庭では、子どもの学習意欲が高まるという結果が見られます。子どもの探究心と家庭学習をつなぐことを大切にしていきましょう。

学びを「おもしろい!」「楽しい!」と言える子どもへ

「やるべきこと」と「やりたいこと」の両立を!

→ 時間を効果的に使って学習する習慣につながります。

→ 大人が新聞や本を読むなどの学ぶ姿を示すことが、子どもの主体的な学びにつながります。

※家族と一緒に空間で学習する家庭では、子どもに家庭学習の習慣が身に付きやすい傾向にあります。

子どもが体験や学びを大切だと思えるようなかわりを!

→ 身の回りの様々な不思議や感動に対して「なぜ?」と問うことが、深い学びにつながります。

→ 体験や学びを通した子どもの成長を具体的に認めることが、自信や意欲につながります。

【例】「できるようになるまで、よくがんばったね。」

→ お手伝いなどを通した日常の体験が、生きた学びにつながります。

【例】ジュースを半分に分けたとき、果汁の割合も半分になり、味が薄まってしまうのかを考える。

雪かきを通して、気温による雪質の違いを実感したり、仕事の段取りについて考えたりする。

